

# 自ら選び、自ら 伝える ～iPadを活用した 「考え」の表現～

令和7年度 ICT活用事例  
小学部 6年 生活単元学習

Subject: Summarizing Memories



## 学習の背景

- 対象：小学部6年
- 単元名：「思い出をまとめよう」
- 活動内容：
  - ①運動会、修学旅行、きりのこまつり等の行事の目標設定と振り返り
  - ②学期の目標設定

## 活用のねらい

児童が自らの意思で好きなイラストや写真を選び、自分なりのワークシートを完成させる。



## これまでの学習



教師が選んだ写真を切り貼りする「受動的な活動」。

「主体性への転換」

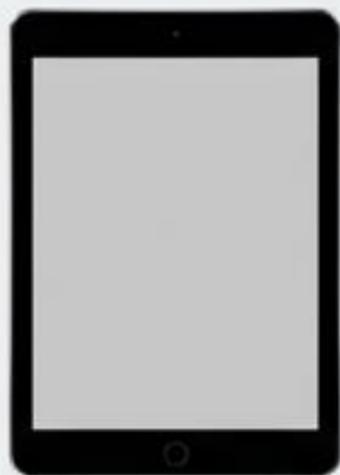
## ICTの活用



児童自らがデジタル素材を選択・編集する「主体的な表現活動」。

# 使用した支援機器・アプリケーション

## Hardware



iPad



TV

## Software



### カメラアップ

カメラのアプリで撮影に編集される



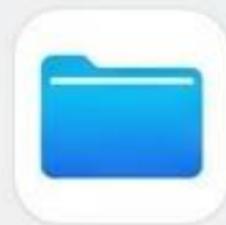
### Google ドライブ

Google アリテードライブを地限様



### Keynote

開発したメリケートを画集ができる



### ファイルアプリ

素材のダウンロードと選択肢の絞り込み

複数のアプリを連携させ、撮影から編集までをシームレスに接続。

# 実践フロー①：クラウドへのアクセス

## Teacher Prep



教師が撮影した写真をGoogle Driveに入れ、QRコードを作成。

## Student Action



児童はカメラアプリでQRコードを読み込み、Google Driveへアクセス。

## 実践フロー ②：素材の選択



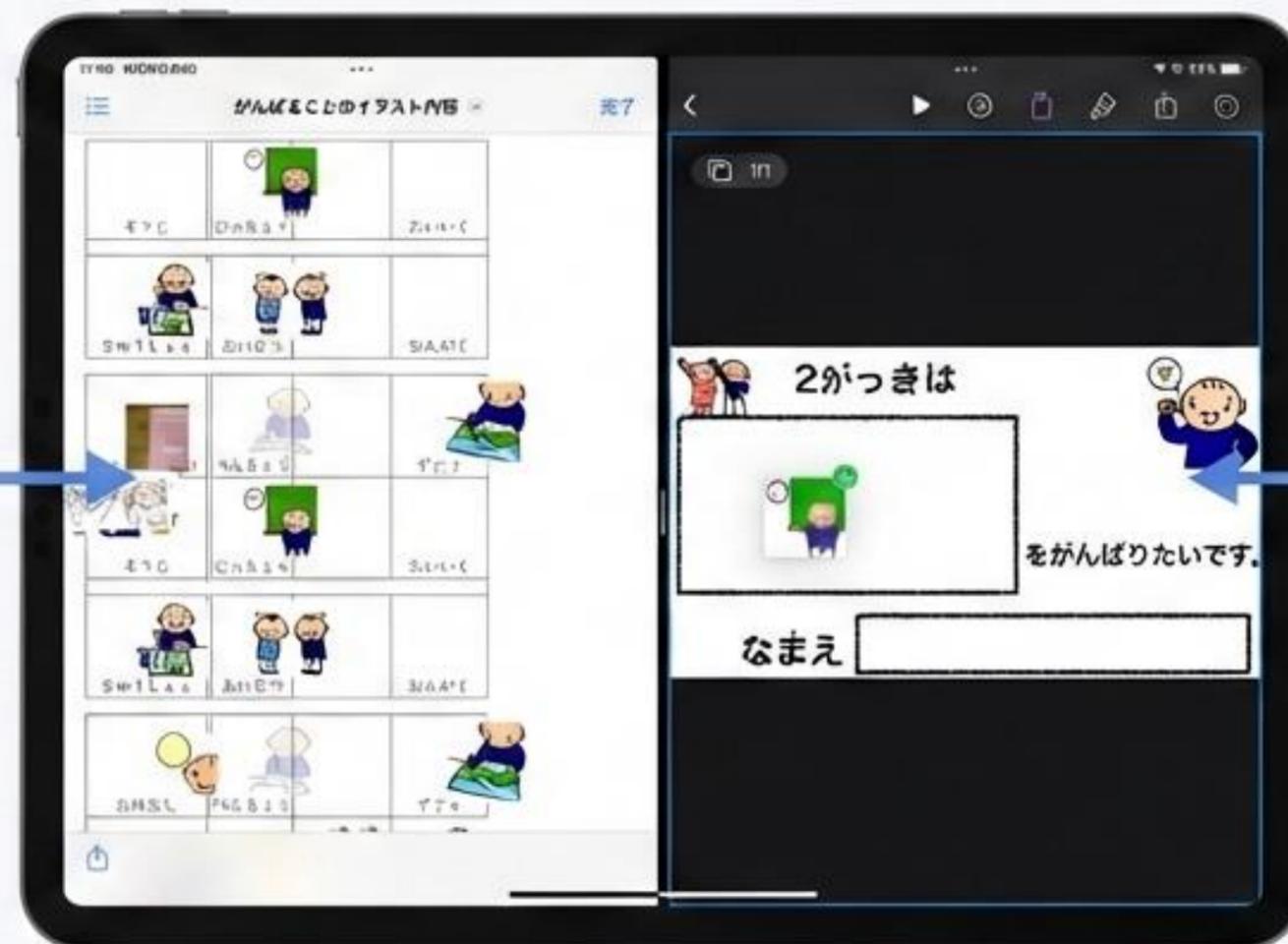
「納得のいく一枚」を選ぶ

教師が用意した限定的な選択肢ではなく、大量のデータの中から自分に合ったものを自ら選ぶプロセスを重視。

選んだ素材はファイルアプリに保存

## 実践フロー③：2画面表示での編集

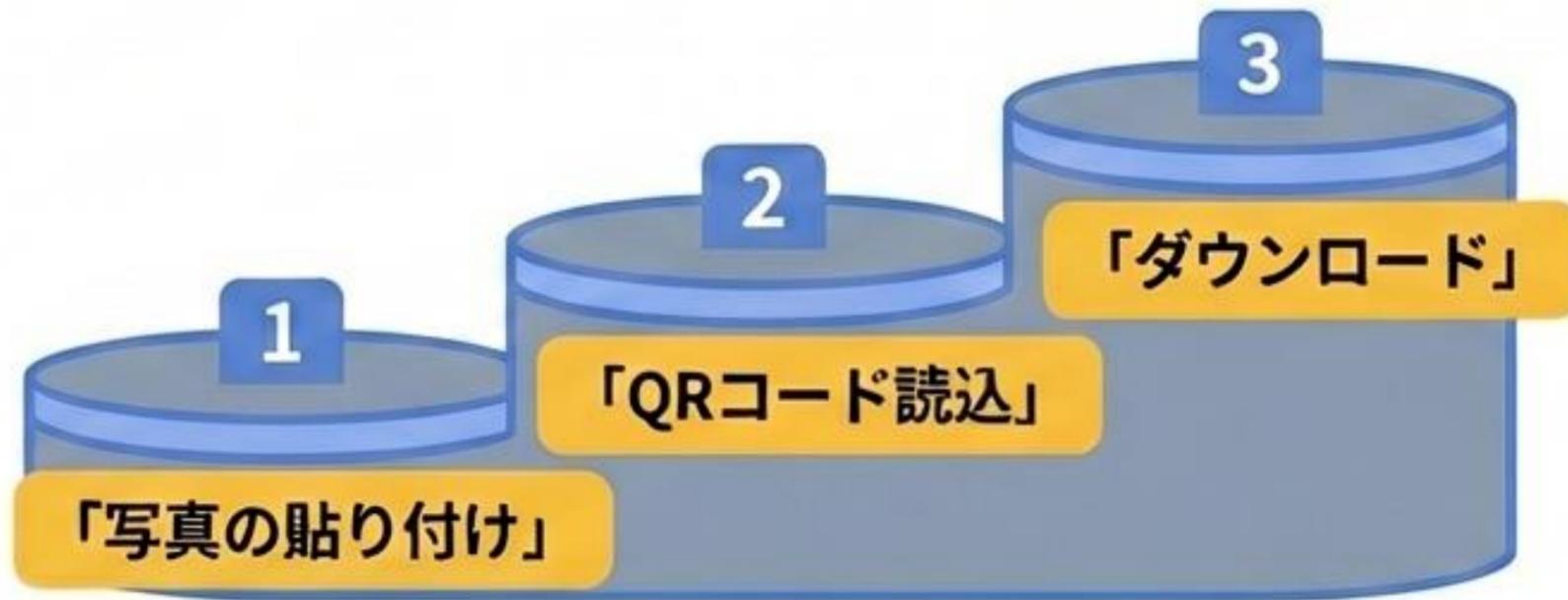
ファイルアプリ  
(参照元)



Keynote  
(作業場所)

iPadの「Split View」機能を活用。保存した写真を確認しながら、ドラッグ&ドロップで直感的にKeynoteへ添付。

# 指導上の工夫：スモールステップと視覚支援



活動を細分化し、最後に統合するように学習計画を配置。



操作手順を忘れても安心できるように、大型TVに手順を常時表示。

# 成果物例：自分だけの「修学旅行」

しゅうがくりょこう 🚌 たのしみなこと 🙌



バス



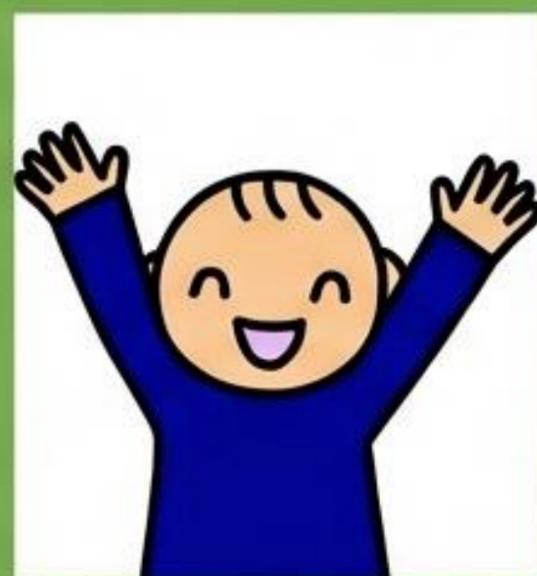
おひるごはん



しゃりようすてーしょん



お風呂



たのしみです

なまえ

ワークシートの枚数制限をなくし、納得いくまで何枚でも作成できる環境を整備。

# 発表：自信を持って伝える



作成したスライドを大型テレビに映し出し、自分の言葉で発表。自分で選んだ写真だからこそ、説明にも熱が入る。

自分で作成した達成感が、自己表現への自信につながる。

# 支援機器の効果と変容

## 主体性の向上



教師等の指示を待つのではなく、自ら画面を操作して必要な素材を選び出す姿が見られた。

## スキルの汎用化



デジタル機器の基本操作（アクセス、保存、編集）を、複数の行事振り返りを通じて習得。

# まとめ：ICTが広げる可能性



**自分だけの作品**

Motivation



**クラウド・ファイル管理**

Literacy



**視覚的・反復可能**

Accessibility

**ICT技術を将来的に活用できるように。そのために  
自分の考えを伝えられることができるように。**